

平成17年1月17日

サッポロビール株式会社

課税移出(引取)数量報告 平成16年・年間分

サッポロビール(株) 広報室

下記の通りご連絡申し上げますので、よろしく御取計ください。

単位:KL、千函、%

<課税移出・年間計>		本年キロリットル	本年大瓶換算	前年比	前年キロリットル	前年大瓶換算
①ビール	国産	506,328	39,994	▲ 5.4	535,396	42,290
	輸入	4,852	383	18.2	4,103	324
	小計	511,180	40,378	▲ 5.2	539,499	42,614
②発泡酒	国産	225,398	17,804	▲ 28.4	314,632	24,852
	輸入	0	0	-	0	0
	小計	225,398	17,804	▲ 28.4	314,632	24,852
③ドラフトワン		232,207	18,342	999.9	2,882	228
総計(①+②+③)		968,784	76,523	13.0	857,012	67,694
ビール+発泡酒(①+②)		736,578	58,182	▲ 13.8	854,131	67,467
発泡酒+ドラフトワン(②+③)		457,605	36,146	44.1	317,514	25,080

*③の項目の品目・税率区分は「雑酒 その他雑酒②」だが、当社の当該品は一つだけなので「ドラフトワン」と記した。

*国産は課税移出、輸入は課税引取り。大瓶換算は1函=12.66%。 *全ての数は表示の1桁下を四捨五入して算出。

*前年比は1函単位の実数から算出しているため、千函・万函単位の本表の表示数からの逆算とは異なることがある。

<ブランド別販売状況>

単位:万函、%

	<下期>			<累計>		
	本年函数	前年比	前年函数	本年函数	前年比	前年函数
黒ラベル	1,556	▲ 3.8	1,617	2,840	▲ 6.3	3,031
エビス計	590	▲ 8.4	645	978	▲ 2.4	1,002
ギネス	24	37.6	17	39	22.6	32
生搾り計	871	▲ 19.0	1,075	1,743	▲ 19.1	2,155
ドラフトワン	1,015	999.9	21	1,816	999.9	21

<トピックス>

- 市場動向 : ビールは約98%、発泡酒は約92%と推定され、前年を下回る厳しい結果となりました。7月猛暑等でビールは健闘しましたが、発泡酒は昨年の増税以来の不調が続いています。一方、新ジャンル市場は急速に伸長し、市場規模は2500万函を超えたものと推定されます。ビール・発泡酒に新ジャンルを加えた市場動向は、前年をやや超えたものと推定されます。
- 当社全般 : 当社ビールは、14年▲12.5%、15年▲7.9%、16年▲5.2%と年々減少幅を縮めてきています。一方、発泡酒はブランド絞込みとドラフトワンの影響で、大きく前年を割り込みました。注目のドラフトワンは1800万函を超えるヒットとなり、雑酒合計(発泡酒+ドラフトワン)では前年比144%を記録しました。その結果、ビールも加えた全体(上表①+②+③)でも前年比113%となり、大幅な成長とシェアアップを達成しました。
- 黒ラベル : 年初計画2750万函(前年比91%)を90万函を上回る達成を果たしました。業務用市場を中心に拡販を進めた施策に7月の猛暑が追い風となり、樽生だけでは前年水準を超えています。
- エビス : エビスは865万函(前年比101.1%)と前年を超え、12年連続シェアアップを達成しました。エビス黒は発売翌年の反動で113万函(前年比77.2%)でしたが、市場定着を果たしました。エビス合計では978万函(前年比97.6%)と、目標であった2年連続1000万函は逃しました。
- ギネス : 14年147%、15年108%、16年123%と持続的成長を果たしています。業務用市場への20L樽などの投入や缶ドラフトギネスの値下げなど積極的なマーケティングの成果です。
- 生搾り : 北海道生搾りが1489万函(前年比79.9%)、新発売の麦100%生搾りが238万函という結果で、ブランド全体では1743万函(前年比80.9%)と、7月1日に下方修正した1750万函(前年比81%)に僅か(7万函:0.1%)に及びませんでした。発売以来4年連続で1700万函を超えています。
- ドラフトワン : 2月から全国発売し、当初1000万函の販売計画を1400万函、1700万函と二度にわたって上方修正する大ヒットとなり、最終的に1816万函を記録しました。12月には221万函を販売し、過去最高の7月(194万函)を上回るなど、ブランド基盤は依然として拡大中です。

以上